

わかくさ竜間リハビリテーション病院

地域連携だより No5

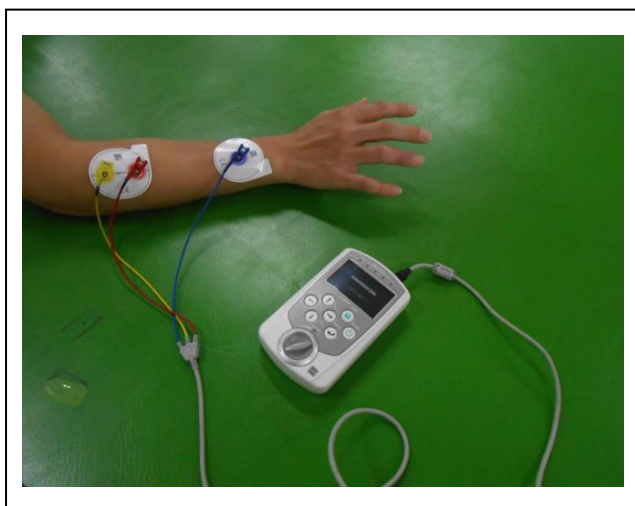


脳血管疾患等による手足の運動障害に対する新しい治療の紹介 ～随意運動介助型電気刺激装置 IVES～

脳卒中や交通事故などにより脳血管や脊髄内の中枢神経にダメージを受けると、脳内で運動がイメージできない、脳からの信号が途絶えてしまうなどで手足が自由に動かせなくなり運動障害（麻痺）が生じてしまいます。近年、外部から電気刺激を筋肉に直接加えることにより、目的の筋肉を収縮させることができる機能的電気刺激（Functional Electrical Stimulation：FES）を利用したリハビリテーションが注目されています。

当院でも、平成25年8月より、このFESのひとつである随意運動介助型電気刺激装置（Integrated Volitional control Electrical Stimulator：IVES）によるリハビリテーションを実施しています。

それまで諦めていた手足の運動麻痺が、通常のリハビリテーションにIVESを併用することで大きな成果がでています。運動機能の回復は、出来るだけ早期からの充実した対応（促進を得るために実施回数や反復の多さ）が求められます。運動麻痺の早期介入についてご相談下さい。



社会医療法人 若弘会

わかくさ竜間リハビリテーション病院

〒574-0012

大阪府大東市大字龍間 1580

TEL：072-869-0116

FAX：072-869-0135

発行：平成28年7月

発行者：地域連携課 健康相談課

療法部